

いさおだより

11月号
平成24年10月30日
和歌山市立有功小学校

食と健康



秋色さらに濃くなってき、日ましに寒さが加わってくる頃ですが、比較的気温の高い日が続きました。11月を迎え一気に季節が進んだような気がします。

この11月は、学校における教育活動を、保護者や地域住民の皆様にお知らせし一層の関心と理解を得、地域ぐるみで子どもを育成する機運を高めるとい趣意のもと、学校開放を実施いたします。各学年の取り組みをご覧いただきたくお願い申し上げます。さらに17日の土曜参観日には、和歌山県警察本部の津波避難推進官の楠本 真警部をお招きし「東日本大震災・台風12号から学んだこと」と題した講演会を予定しています。また翌日18日の日曜日には「いさおこどもまつりが」開催されますので皆様、万障繰り合わせの上ご参加いただきますよう併せてお願い申し上げます。

さて、本校の研究発表会を10月24日に実施いたしました。和歌山市教育委員会の研究指定を受け「食に関心を持ち健康について考えられる子の育成」という研究テーマのもとに、実践研究に取り組んでまいりました。当日は4年生の「和歌山の美味しい物発見（ふるさとの味を楽しもう）」と5年生の「米・こめ・コメパワー（お米の魅力探検隊）」の2つの授業を提案し、和歌山市の多くの小学校の先生方に参観いただき、その後、熱のこもった協議会となることができました。

私たちは、本校の子どもたちが学校の様々な教育活動を通して、食に関する知識や技能を獲得し、さらに望ましい食生活の形成に結びつく実践的な態度形成がなされ、食育基本法に示されている「食育を生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの・・・」となるように、健康で心豊かに子どもが成長していくことを願い、一層努力してまいりたいと思っています。

食育を推進していくためには、「学校で食育、家庭で食育、そして地域でも食育」ということが大事かと思えます。保護者、地域の皆様、今後ともご理解、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

(学校長 山本 和也)

